

京都市市民スポーツ振興計画「スポーツの絆が生きるまち推進プラン」(R4.3 追補版) 掲載施策と取組状況について(詳細版)

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する ス ポ ー ツ	1 アセットマネジメントの推進 本市のスポーツ施設・設備について、長寿命化計画を策定し、アセットマネジメントにより限られた施設の延命と有効活用を図ります。	長寿命化計画を策定・充実し、計画的な整備、改修による、施設・設備の延命と有効活用を推進。	【長寿命化計画の策定】 たけびしスタジアム京都 (H26)、 2ha 以上の都市公園のうち、河川敷 2 公園を除く 13 公園 (西京極総合運動公園等) 追加策定 (H30) 京都アクアリーナ (R3) 【長寿命化計画に基づく計画的な工事の実施】 伏見北堀公園地域体育館屋根 (R2) 小畑川中央公園テニスコート照明 (R2) 東野公園一部遊具撤去 (R5) 伏見公園バックフェンス等改修 (R5) 下京地域体育館屋根・外壁・特定天井対策 (R5) 東山地域体育館特定天井対策 (R6) 京都アクアリーナ中央監視装置リモート装置更新 (R6)
	2 環境にやさしい効率的な設備の推進 (31 再掲) 太陽光発電やエネルギー効率のよい設備の導入等を積極的に図ります。	太陽光発電の設置、LED 照明等への改修など、環境に配慮した施設の整備、設備の導入を推進。	【太陽光発電の設置】 京都市体育館 (H25)、宝が池公園運動施設体育館 (R 元) 【LED 照明への改修】 宝が池公園運動施設体育館 (R 元)、小畑川中央公園テニスコート (R2) 武道センター本館 (R2)、桂川地域体育館 (R4) 下鳥羽公園球技場(R5)、宝が池公園運動施設テニスコート(R5) 岡崎公園テニスコート (R6) 小・中学校の夜間校庭開放事業において老朽化した照明を順次改修中 (R 元 : 4 校、R2:6 校、R3:5 校、R4:6 校、R5:6 校、R6:8 校)
	3 ひとにやさしい施設の改修・整備 (32, 51 再掲) 施設の改修・整備に際しては、観客席、更衣室、通路、トイレなどのバリアフリー化やユニバーサルデザインの理念に沿った施設のあり方を追求します。	トイレ等の改修をはじめとする施設、設備のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの理念による改修、整備を推進。	【トイレ等改修・バリアフリー化】 たけびしスタジアム京都 (府市協調 : H28～)、 横大路運動公園 (府市協調 : R 元～)、 宝が池公園運動施設球技場、園路 (寄附整備 : R6)、 わかさスタジアム京都東側外野席トイレ (R6) 【ユニバーサルデザインの理念に沿った施設整備】 宝が池公園運動施設体育館 (R 元)、 宝が池公園運動施設球技場 (寄附整備 : R5～6)

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する ス ポ ー ツ	4 府市協調などによる施設整備 京都府との協調による西京極総合運動公園や横大路運動公園などの整備に加え、水垂運動公園（仮称）や宝が池公園体育館（仮称）の早期完成を目指して取組を進めます。	西京極総合運動公園、横大路運動公園など、府市協調による整備を推進。水垂運動公園（仮称）整備手法を検討。宝が池運動公園施設体育館が完成し、令和元年9月に開館。	【府市協調】 （たけびし） 大型映像装置・新メインゲートの整備（H27） メインスタンド諸室・トイレ改修（H28～R2） （横大路）運動公園再整備・防災機能強化（園路整備）（R元） 【西京極】 陸上競技場兼球技場の1種公認継続に向けた改修（R2） 補助競技場の3種公認継続に向けた改修（R3） 【宝が池】 体育館新設（R1） 【水垂】 整備基本計画の見直し策定（H28） 官民連携手法等導入可能性の検討等（H29～R2） 整備までに必要な調査等（R3～） 【伏見桃山】 スタンドの改修、LEDスコアボードの設置（H25～26） 【吉祥院】 野球場改修工事（H25） 【特定天井対策】 武道センター本館（R2） 桂川地域体育館（R4） 下京地域体育館（R5） 東山地域体育館（R6）
	5 スポーツ施設の在り方に関する将来構想の策定 既存施設の利用状況や競技ニーズの多様化、今後の施設改修・整備の進捗状況などを踏まえ、長期的な観点から、必要数や規模、最適配置など本市スポーツ施設のあり方に関する将来構想の策定を進めます。	施設の長寿命化計画を策定・充実するとともに、水垂運動公園（仮称）整備の検討。	【長寿命化計画の策定・充実】 たけびしスタジアム京都（H26） 2ha以上の都市公園のうち、河川敷2公園を除く13公園について追加策定（H30） 京都アクアリーナ（R3） 【水垂】 官民連携手法等導入可能性の検討等（H29～R2）

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する ス ポ ー ツ	6 ネーミングライツ契約を活用した施設整備（46 再掲） わかさスタジアム京都（西京極総合運動公園野球場）やハンナリーズアリーナ（京都市体育館）の導入事例を踏まえ、新規導入や継続、新たな手法の検討に取り組むとともに、ネーミングライツ収入を効果的に活用して施設の整備・改修を進めます。	京都市体育館など12施設を通称付与の対象施設に設定し、ネーミングライツの導入を促進するとともに、ネーミングライツでの財源を活用した施設整備、改修を実施。	【ネーミングライツ契約】 ・わかさスタジアム京都（西京極総合運動公園野球場）（R6～R10） ・たけびしスタジアム京都（西京極総合運動公園球技場）（R1～R12） ・大和ハウスパーキング京都市宝が池フットサルコート（H30～R10） ・SBS ロジコム吉祥院公園球技場（吉祥院公園球技場）（R5～R7） ・東寺ハウジングフィールド西京極（西京極総合運動公園補助競技場）（R5～R9） ・アイアイ伏見桃山スタジアム（伏見桃山城運動公園野球場）（R5～R10） ・かたおかアリーナ京都（京都市体育館）（R5～R15） 【ネーミングライツでの財源を活用した施設整備・改修】 【わかさ】 グラウンド全面改修、諸室・スタンド一部改修等（H21～）、観客席個席化（R2～R5）、スタンド上部広告板点検整備（R6）、東側外野席トイレ改修（R6） 【かたおか】 耐震化等の大規模改修（H24～25） 【宝が池フットサル】 人工芝張替え（H30） 【たけびし】 1種公認継続に向けた芝・走路改修、諸室改修、照明等改修に向けた調査・検討（R2） 【SBS ロジコム】 ラグビーゴール購入（R6） 【東寺ハウジング】 照明設置（R5～6）、フレキハードル購入（R6）
	7 身近なスポーツ環境の整備 身近な公園や広場などに軽い運動や健康づくりのための設備、器具などの設置に取り組みます。	運動公園のほか、身近な公園、広場に健康づくりのための環境整備	【健康遊具設置公園数】 既存設置公園数（R7.3 現在）：153 公園
	8 市民に身近な施設の利用促進（50 再掲） 学校の夜間利用など、生活圏にある施設の利用促進を図ります。	夜間校庭開放事業等による学校施設の利用を促進。老朽化した照明設備について順次改修。	【校庭開放事業】 小・中学校での夜間校庭開放事業の実施（照明設置校数 R7 現在：165 校） 学校体育施設開放事業の実施（R7 現在：211 校） 【照明改修】 老朽化した照明を順次改修中（R 元：4 校、R2:6 校、R3:5 校、R4:6 校、R5:6 校、R6:8 校、R7:5 校予定）

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する ス ポ ー ツ	9 施設の柔軟な管理運営及び良質なサービスの提供 (52 再掲) 市民のライフスタイル（くらし方・生き方）、生活時間の変化により多様化するニーズに応えるため、指定管理者と連携し、施設の開所時間の拡充や無料開放日の設定など管理・運営を柔軟なものとし、良質なサービスを提供します。	一部施設の供用時間の拡大や無料開放日の設定など、指定管理者と連携したサービス向上の取組を実施。	【供用時間拡大、時間外利用の実施】 わかさスタジアム京都の供用時間拡大（午前9時→7時、H25年度～） 京都アクアリーナにおいて開所時間（9:00～21:00）外での利用を実施 各施設で時間外利用が可能となるよう規定整備（R5） 勸修寺公園、アイアイ伏見桃山スタジアム、小畑川中央公園（19時まで利用時間延長、R5～試行） 【正月無料開放日の設定】※ R7.1月実績 たけびしスタジアム京都、かたおかアリーナ京都、岡崎公園野球場
	10 競技ニーズの多様化に対応した受け入れ種目の拡充検討 (53 再掲) 競技ニーズの多様化に対応して、障害者スポーツへの対応を含め、各施設で受入可能な競技種目の拡充を検討します。	一部施設でフェンシングやテックボール、スケートボードの受入を試行実施するなど、利用者、団体等の要望に応じて競技種目を拡充。	【フェンシング試行実施】 伏見北堀公園地域体育館（R元～） 【テックボール試行実施】 岩倉東公園及び桂川緑地久我橋東詰公園（R元～） 【アーバンスポーツ試行実施】 【利用種目の拡大試行実施】 ・野球場等において、野球以外のスポーツ及びスポーツ以外の利用を受け付け。（東野公園、勸修寺公園、小畑川中央公園、三栖公園、R4～） （吉祥院公園、横大路運動公園、桂川緑地久我橋東詰公園、伏見桃山城運動公園、牛ヶ瀬公園、一乗寺公園、岩倉東公園、R5～） ・施設内会議室においてスポーツ以外の利用を受け付け。 （宝が池体育館、宝が池クラブハウス、東山・山科・右京・桂川・醍醐・下京地域体育館、市民スポーツ会館、武道センター、横大路体育館、京都アクアリーナ、R4～）

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する スポ ーツ	11 <u>スポーツ施設の整備・運営における民間活力の更なる活用促進</u> R4.3 追 加 本市の危機的な財政状況においても、費用負担を抑えながら施設の整備・改修を進めるとともに、管理運営費も含めた経費削減を図るため、民間活力の導入・活用促進に向けた検討を進めます。	西京極総合運動公園内の各施設の大規模改修を含む同公園全体の管理・運営について、民間活力の導入可能性を調査し、従来手法との比較により、最適な事業手法を検討するほか、水垂運動公園の整備に向けたPFIの検討などを実施	【西京極】民間活力導入に向けた調査・検討（R4・R5・R6） 【水垂】官民連携手法等導入可能性の検討等（H29～R2）整備までに必要な調査等（R3～） 【宝が池・下鳥羽】市民からの寄付を活用した人工芝等の改修（宝が池球技場：人工芝、電光掲示板、観客席・諸室／下鳥羽公園球技場：人工芝、照明のLED化）（R4～R5：設計） 下鳥羽公園球技場照明LED化（R5） 宝が池公園運動施設球技場外壁改修（R5） 宝が池公園運動施設球技場諸室等改修、人工芝改修（R6） 【宝が池公園運動施設アーバンスポーツパーク】整備内容検討（R4～R5） クラウドファンディング実施（R5）、整備（R6） 【ミズノスポーツプラザ京都伏見】民間活力を導入したスポーツ施設の整備・運営（H31年3月～供用開始）
	12 <u>アーバンスポーツを楽しめる環境づくりの推進</u> R4.3 追 加 東京2020オリンピックの開催を受けて、注目が高まっているスケートボードなどのアーバンスポーツについて、関係団体等とも連携しながら、マナーを守って安全に楽しむことができる環境づくりに取り組みます。	市内3公園にスケートボードの練習場所を試行設置したほか、市民からの寄付を活用し、宝が池公園内に新たなスケートボード場をはじめとするアーバンスポーツ対応施設を整備予定。	【アーバンスポーツ試行実施】小畑川中央公園、横大路運動公園（R3～） 【宝が池公園運動施設アーバンスポーツパーク】整備内容検討（R4～R5）整備（R6）
	13 <u>気軽に体を動かすための場の設定</u> 体育振興会、学校、競技団体、指定管理者等と連携し、ウォーキングコース、ジョギングコース、体操ひろばなどを設定します。	施設の指定管理者等によるスポーツ教室やイベント、体振事業、夜間校庭開放事業、健康長寿の取組などにより、気軽に運動できる機会や場を設定。	【指定管理者】各種スポーツ教室や講座の開催 【体振】各学区での大会（ペタンク、グラウンドゴルフ、ソフトボール、バレーなど）の開催 【市】夜間校庭開放事業の実施、地域健康づくりグループ育成事業、ランニングコースの発信等
	14 <u>ウォーキングイベント等に関する情報発信の充実</u> 各区やウォーキング協会をはじめとする各団体で実施されているウォーキングイベントやコース設定に関する情報を集約、発信することで、市民の身近な健康づくりを支援します。併せて、京都を訪れる観光客にとっても、歩いて京都の魅力を体感・発見できる機会となるよう取組を進めます。	観光スポットを巡り、健康づくりのきっかけとなる京都ツーデーウォークの開催 【上京区】文化庁京都移転と上京区体育振興会連合会創立70周年を記念した、健康促進を目的とするウォーキングイベント「おこしやす上京」の開催（※R5のみ）	・京都ツーデーウォークの開催（R4、R5、R6 ※R5はワンデーウォーク） ・【上京区】文化庁京都移転・上京区体育振興会連合会70周年記念事業「おこしやす上京」日帰りウォーキングの開催（※R5のみ）

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する スポ ーツ	15 スポーツを楽しむためのプログラムの提供 競技団体やプロスポーツチーム、レクリエーション協会等との協力のもと、各種スポーツ教室や講座の開催、室内で手軽にできるプログラムの開発・提供、指導者の派遣情報の提供などに取り組みます。	指定管理者を中心に関係団体等と連携したスポーツ教室やイベント、地域における健康づくり事業、体振事業などを実施。	【指定管理者】各種スポーツ教室や講座の開催 【市】地域課題に応じた健康教室等の実施 「京都スポーツの殿堂」伝道事業の実施 【体振】各学区での大会（ペタンク、グラウンドゴルフ、ソフトボール、バレーなど）の開催
	16 ニュースポーツの普及・振興の取組の強化 体育振興会、レクリエーション協会、学校等と連携し、ニュースポーツの種目の紹介や、色々な種目に親しむ機会の拡充、ルールブック・道具の貸出、新たな種目の開発支援などに取り組みます。	学区体振会長を対象としたニュースポーツ大会の開催、体振事業や指定管理者のイベントでのニュースポーツの体験会等の実施。	【指定管理者】ニュースポーツ体験会実施 【体振】学区体振会長対象のニュースポーツ大会実施(R6) (モルック、スクエアボッチャなど) 市民スポーツフェスティバルで、スクエアボッチャ体験会とモルック交流大会実施 各学区においてもモルック等の体験会及び大会実施
	17 障害のある人を中心としたアダプテッドスポーツの普及・充実 障害のある人はもちろんのこと、幼児から高齢者、体力の低い人が参加しやすいスポーツの普及・充実に取り組みます。	障害者スポーツセンター及び障害者教養文化・体育会館の事業をはじめ、スポーツイベントでの体験会等を通して障害者スポーツや誰もが参加しやすいスポーツの普及に向けた取組を実施。	【障害者スポーツセンター、障害者教養文化・体育会館】 障害者スポーツ教室の開催、障害者スポーツ大会の開催、スクエアボッチャ等の障害者スポーツ体験会、全国障害者スポーツ大会への選手派遣、福祉施設、小中学校、地域等での障害者スポーツ普及振興など
	18 障害の有無に関わらずスポーツを楽しむ機会の充実 障害のある人が参加できる大会の拡充など障害者スポーツの振興はもとより、従来から実施しているスポーツ大会、スポーツ教室の内容を再検討し、障害のある人もない人も共にスポーツを楽しむことができる機会を拡充します。	障害者スポーツセンター及び障害者教養文化・体育会館の運営や全国車いす駅伝の開催、京都マラソンでの車いすの部の開催のほか、障害の有無に関わらず誰もが楽しめるスポーツイベントを施設の指定管理者を中心に開催。	【障害者スポーツセンター、障害者教養文化・体育会館】 スポーツ教室や競技体験会の実施 【市】 全国障害者スポーツ大会への選手派遣 全京都障害者総合スポーツ大会の開催 天皇盃 全国車いす駅伝競走大会の開催 全国車いす駅伝の開催 京都マラソン車いす競技の開催 おんらいん京都マラソンのエントリー枠に車いす部門の設定(2021、2022大会) WMG 障がい者部門の設置(※R9に再延期決定) インクルーシブ・サイクリング体験会の開催(R3～R6)
	19 親子や多世代で楽しめるスポーツ機会の拡充 親子や多世代で参加でき、家族でスポーツを楽しむスポーツ教室等の充実により、子育て期のスポーツ参加機会や、幼児期からの子どもの体力向上や体を動かす喜びを体感する機会を拡充するとともに、スポーツを通じた家族の絆づくりやコミュニケーションの促進を図ります。	施設の指定管理者によるスポーツイベント、市民スポーツフェスティバルなどの体振事業、京都ツーデーウオーク等の親子や多世代で楽しめる取組を実施。	【市】 市民スポーツフェスティバルの開催 みんなのスポーツフェスタの開催 京都ツーデーウオークの開催(R3はオンラインウオーク) 【指定管理者】各種スポーツ教室や講座の開催 【体振】各学区での大会（ペタンク、グラウンドゴルフ、ソフトボール、バレー、学区民体育祭など）の開催

掲載事業		実施状況	主な実績
1 す る ス ポ ー ツ	20 子どもの多様なスポーツ体験機会の創出 幼児期から子どもたちが一度に様々なスポーツを体験できる教室の開催など、特定の競技のみに関わるのではなく、様々なスポーツの魅力に触れることができる機会を創出します。	スポーツ少年団やこども体育館、少年スポーツ広場の運営、施設の指定管理者によるスポーツイベント、各地域での体振事業等により、子どもの多様なスポーツ体験の機会を創出。	【市】スポーツ少年団運営（133 団）、こども向け施設の運営（こども体育館、少年スポーツ広場など） 【指定管理者】各種スポーツ教室や講座の開催 【体振】各学区での学区民体育祭などの開催
	21 「京都スポーツの殿堂」事業の推進（37 再掲） 京都ゆかりのトップアスリートを殿堂入りとして顕彰するとともに、殿堂入り者によるスポーツ教室や講演会などの「伝道事業」の充実を図ります。	殿堂委員会の開催による殿堂入り者の選考、表彰式の開催、殿堂ホールでの展示、殿堂入り者による伝道事業などを実施。	・本市ゆかりのスポーツ関係者を殿堂入り者として表彰（H22～、42 名殿堂入り、9 名特別功労表彰） ・殿堂ホールにおいて殿堂入り者の情報を発信（H22 年度～） ・殿堂入り者による伝道事業の実施 （R6：福士氏による運動会イベント、柱谷氏によるサッカー教室、久保氏による特別授業、釜本氏監修によるサッカー教室、小西氏・岡島氏によるティーボール教室）
	22 プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームと連携した地域活性化の推進（39, 57 再掲） R4.3 追加 京都サンガF.C. や京都ハンナリーズをはじめとしたスポーツチームとの連携・協力を一層進めるために立ち上げた「京都市スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チーム」の取組などにより、市民と共にスポーツチームを盛り上げることを通じて市民スポーツの振興を図るとともに、地域との連携を更に深め、地域活性化にもつなげていきます。	京都市スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チームを設置（令和4年2月）・運営し、庁内各局とスポーツチームとの協力・連携を促進。	プロスポーツチームと連携した主な取組（R6） ・京都市ホームタウンデーにおける連携（サンガ） ・小学生を対象にした職業体験イベントでのブース出展（サンガ） ・Kotochika 連携イベント秋のガラボン抽選会の実施（サンガ） ・ホームゲームにおける使い捨てプラスチック削減啓発、食品ロス削減啓発（ハンナリーズ） ・祇園祭や嵐山公園でのまち美化推進事業団との清掃活動イベント（ハンナリーズ） ・京都ハンナリーズ及びパートナー企業によるバスケットボール等の寄付プロジェクト（ハンナリーズ） ・中学校の休日運動部活動に指導者を派遣（ハンナリーズ） ・女性に対する暴力をなくす運動パネル展示（京都カグヤライズ） ・児童館が開催するイベントでのバスケットボール体験（じけんアップデーターズ） ・区民まつりでのブース出展等（サンガ、ハンナリーズ、京都カグヤライズ）

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する ス ポ ー ツ	23 ICTを活用したスポーツの推進 R4.3 追 加 スポーツ界におけるDXの動向や、コロナ禍でのおんらいん京都マラソンの実施及びおうちで単体操縦動画（作成：京都市体育振興会連合会）などの取組の成果も踏まえながら、ICTを活用したスポーツの推進に取り組めます。	オンラインマラソンの実施など、ICTを活用したスポーツを推進。	・京都マラソンの中止に伴い、おんらいん京都マラソンを実施。R4 からは、リアル開催が復活したが、大会に先行して10～11月に開催。 ランナー数 ・R2 年度 2021 大会 延べ9,862 人 ・R3 年度 2022 大会 延べ7,550 人 ・R4 年度 2023 大会 延べ1,865 人 ・R5 年度 2024 大会 (フル)：1,207 人 (100km)：610 人 ・R6 年度 2025 大会 走行距離累積チャレンジ 1,085 人
	24 ワールドマスターズゲームズ 2027 関西を契機とした生涯スポーツの普及・振興 京都市内を含む関西全域で開催される生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」の開催準備を着実に進めることはもとより、大会開催を契機として、だれもが生涯を通じてスポーツに親しめるよう、生涯スポーツの普及・振興を図ります。	ワールドマスターズゲームズ 2027 関西 (WMG) の開催準備を進めるとともに、機運醸成や関連事業等を通じた生涯スポーツの普及・振興を推進。 (WMG開催期間) 当 初：令和3年5月14日～30日 延 期：令和4年5月13日～29日 再延期：令和9年5月14日～30日	【機運醸成事業の実施】 ・「関西スポーツの日」及び「関西スポーツ月間」の制定等に係る広報キャンペーン（京都駅前）、1000 日前記念イベント（平安神宮）など（H30） ・WMG2 年前記念イベント開催（京都駅ビル駅前広場）、大規模国際スポーツ大会 PR イベントの開催（トークショー、スポーツ体験会など）（R 元） ・WMG 体験会（スポーツ協会連携）、公共サイン美術展（京都市共催）、プレイベントマスターズ陸上競技京都大会開催（R2） ・オープン競技ペタンク大会開催（R3） ・スカッシュ競技会場オープニングセレモニー及びこけら落とし大会（R4） ・スカッシュ競技マスターズオープン in 関西及び京都マスターズ陸上選手権大会、近畿総合バドミントン選手権大会開催（R5） ・スカッシュ競技マスターズオープン in 関西及び京都マスターズ陸上選手権大会（R6）
	25 関西広域連合を中心とした広域スポーツの振興 関西広域連合における取組として、府県域を超えたスポーツ大会への参加等、スポーツ機会の拡充に努めます。	「関西スポーツの日」及び「関西スポーツ月間」の広報、WMG 関連事業や関西シニアマスターズ大会の情報提供、関西広域サイクリングルートの設定等の関西広域連合を中心とした取組を実施。	・WMG 関連事業、関西シニアマスターズ大会等、府県域をこえたスポーツ大会等の情報提供 ・関西広域サイクリングルートの設定（R2：京都・奈良・和歌山ルート、R3～忍びの里・古都周遊ルート（滋賀－三重－奈良－京都）） ・関西スポーツの日（5/14）、 関西スポーツ月間の設定（5 月）

掲載事業		実施状況	主な実績
1 する ス ポ ー ツ	26 スポーツツーリズムの推進（36 再掲） 「京都マラソン」など京都のまちの魅力を生かしたスポーツイベントの開催、プロスポーツの振興、大規模スポーツイベントの誘致促進などの取組により、スポーツを観光資源として観光誘客やまちの活性化につなげるスポーツツーリズムを推進します。	観光スポットを巡る京都マラソンや京都ウオークの開催、全国駅伝やプロスポーツ等の開催支援、関西広域連合との連携によるスポーツと観光情報の発信や WMG を契機とした観光振興等を実施。	・京都マラソン、京都ウオーク、天皇盃 全国車いす駅伝競走大会の実施 ※京都マラソン 2021、2022 大会は新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン開催 ・全国規模大会の後援、共催（高校駅伝、女子駅伝） ・プロスポーツの開催支援（J リーグ、プロ野球、B リーグ、3×3、T リーグ、女子プロ野球（～R3）） ・WMG 特別体験プランの公開（大会再延期に伴い休止中）
	27 文化プログラムと連携したスポーツイベントの実施 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、そのキックオフイベント「スポーツ・文化・ワールドフォーラム」をはじめとするスポーツと文化・芸術が融合したイベントの開催に取り組みます。	京都マラソンなどにおいて、文化と融合したプログラムを実施中。スポーツと連携した文化プログラムとして、スポーツ文化ワールドフォーラムを開催、京都文化力プロジェクトを推進。	・京都文化力プロジェクトの推進（H28～R3） ・「スポーツ・文化・ワールドフォーラム」の開催（H28） ・西陣織のフィニッシュテープ（～2020）、入賞メダルリボンでの京くみひも、京友禅の使用 ・完走メダルリボンに京友禅デザインを使用（2021） ・フィニッシャータオルに京友禅デザインを使用（2024～） ・参加賞（オリジナルネックゲイター）に京友禅デザインを使用（2024～） ・海外ランナーへ参加記念品としてオリジナル風呂敷を配布（2025～） ・ふるさと納税返礼品（京都マラソンオリジナルシュールレース）での京くみひもの使用（2022 大会） ・ハンナリーズ試合開催日に合わせて親子で参加できる「和ろうそく絵付体験会」を実施（R3）
	28 オリンピアン・パラリンピアンによるスポーツ教室等の実施 「京都スポーツの殿堂」事業等の取組とも連携して、オリンピアン・パラリンピアンによるスポーツ教室、講演会等の実施により、トップアスリートに直接触れ合える機会を拡充します。	京都スポーツの殿堂入り者による伝道事業をはじめ、オリンピアン等に参加いただく WMG 関連事業や施設の指定管理者によるスポーツイベント等を実施。	【市】 京都スポーツの殿堂入り者による伝道事業の開催（R6：福士氏による運動会イベント、柱谷氏によるサッカー教室、久保氏による特別授業、釜本氏監修によるサッカー教室、小西氏・岡島氏によるティーボール教室） 朝原氏、奥野氏等の PR 大使による WMG の PR イベント実施 【指定管理者】 オリンピアンによる各種スポーツ講座の実施 【寄附事業】 ・宝が池球技場のリニューアルオープンとして、伝道事業と連携し、田中氏によるラグビー教室を開催（R7） ・宝が池アーバンスポーツパークのオープニングとして、四十住氏（東京五輪 2020 金）、永原氏（パリ五輪出場）等によるイベント及びスケートボード等の体験教室を開催（R7）

掲載事業		実施状況	主な実績
1 するスポーツ	29 R4.3 追加	ウイズコロナ・ポストコロナ社会での市民スポーツの振興（40, 58 再掲） スポーツ施設における感染拡大防止対策を徹底するなど、市民が身近で安心・安全にスポーツ活動に取り組める環境を提供します。 市民スポーツの普及・振興に大きな役割を果たしている体育振興会やスポーツ推進指導員等と更なる連携を図り、ウイズコロナ・ポストコロナ社会における市民スポーツの振興に取り組みます。 「するスポーツ」「みるスポーツ」「支えるスポーツ」のそれぞれに大きな役割を果たしている京都マラソンについて、ウイズコロナ・ポストコロナ社会に適合し、安心・安全な大会を開催するとともに、魅力を高め、更なる進化を図ります。 密になりにくいアウトドアスポーツとして、トレイルやサイクリングなどを推進し、健康づくりに加えて、京都の新たな魅力を体感・発見できる機会にもつなげます。	【本市所管のスポーツ施設】 ・抗ウイルス加工（更衣室、トイレ、トレーニングルーム等）、空気清浄機・CO2センサー、サーマルカメラの設置（R3） 【活動支援補助】 ・スポーツ活動におけるコロナ対策に係る経費を助成する「京都市スポーツ団体活動支援補助金」の創設・支援（R3 限り。補助件数 62 団体、交付金額 10,768 千円） 【体育振興会・スポーツ推進委員との連携】 ・「体育振興会事業における感染症予防ガイドライン」の作成（R2）、ガイドラインに沿った各体育振興会事業の実施 【京都マラソン】 ・京都マラソン 2022、2023 の開催に当たっての新型コロナウイルス感染症対策の実施 【京都一周トレイル】 ・R4.10 ガイドマップの改訂。インスタグラムを利用したフォトコンテストのほか雑誌、ラジオ等と連携した情報発信 【サイクリング・自転車観光】 ・京奈和自転車道サイクリングマップの更新（R6.3） ・関西広域連合と連携し、関西広域サイクリングルートの設定（忍びの里・古都周遊ルート（滋賀ー三重ー奈良ー京都）） ・「ツール・ド・京都西山 京都西山ヒルクライム参拝！」の実施（西京区洛西、向日市、長岡京市、大山崎町及び地域団体が連携し地域の魅力発信やサイクルツーリズム推進）（R4） ・「京都西山ヒルクライム参拝！2024 poewred by Sigr」の実施（R5、R6） ・京都よくばり自転車観光ナビを「京都自転車観光ナビ」としてリニューアル（R2～） ・京都市サイクルサポートステーションの設置（R5）
		本市所管のスポーツ施設における抗ウイルス加工、サーマルカメラ等の設置のほか、スポーツ活動におけるコロナ対策費用を支援する京都市スポーツ団体活動支援補助金を創設（令和3年度限り）するなど新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施。 体育振興会やスポーツ推進指導員と連携し、「体育振興会事業における新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を活用のうえ事業を実施。 3年ぶりに公道を走る京都マラソン2023の開催に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底。 密になりにくいアウトドアスポーツとして、京都一周トレイルを活用したイベント・情報発信、広域的なサイクリングルートの設定・サイクリング環境の整備、情報発信。	

掲載事業		実施状況	主な実績
2 みる スポ ーツ	30 国際的・全国的規模のスポーツイベントに対応した施設の充実 西京極総合運動公園や横大路運動公園等の競技環境と観戦環境の充実を図るとともに、国際的・全国的規模の競技施設のバックアップとして、各施設の機能充実に取り組みます。	府市協調による西京極総合運動公園や横大路運動公園の整備、宝が池公園運動施設体育館の新設、京都市体育館や武道センターの改修、京都アクアリーナの設備更新による競技環境向上等の取組を実施。	【府市協調】 （たけびし）大型映像装置・新メインゲートの整備（H27） メインスタンド諸室・トイレ改修（H28～R2） （横大路）運動公園再整備・防災機能強化（園路整備）（R元～） 【宝が池】体育館の新設（R元）、アーバンスポーツパーク（大型バーチカル（高さ3.3m）新設（R6） 【武道センター】特定天井、空調の改修工事（R2） 【京都市体育館】大規模改修工事（H25） 【アクアリーナ】プール可動床部品、音響設備更新など（随時）
	31 環境にやさしい効率的な設備の推進（2再掲） 太陽光発電やエネルギー効率のよい設備の導入等を積極的に図ります。	太陽光発電の設置、LED照明等への改修など、環境に配慮した施設の整備、設備の導入を推進。	【太陽光発電の設置】 京都市体育館（H25）、宝が池公園運動施設体育館（R元） 【LED照明への改修】 宝が池公園運動施設体育館（R元）、小畑川中央公園テニスコート（R2） 武道センター本館（R2）、桂川地域体育館（R4） 下鳥羽公園球技場（R5）、宝が池公園運動施設テニスコート（R5） 岡崎公園テニスコート（R6） 小・中学校の夜間校庭開放事業において老朽化した照明を順次改修中（R元：4校、R2：6校、R3：5校、R4：6校、R5：6校、R6：8校）
	32 ひとにやさしい施設の改修・整備（3,51再掲） 施設の改修・整備に際しては、観客席、更衣室、通路、トイレなどのバリアフリー化やユニバーサルデザインの理念に沿った施設のあり方を追求します。	トイレ等の改修をはじめとする施設、設備のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの理念による改修、整備を推進。	【トイレ等改修・バリアフリー化】 たけびしスタジアム京都（府市協調：H28～）、 横大路運動公園（府市協調：R元～）、 宝が池公園運動施設球技場、園路（寄附整備：R6）、 わかさスタジアム京都東側外野席トイレ（R6） 【ユニバーサルデザインの理念に沿った施設整備】 宝が池公園運動施設体育館（R元）、 宝が池公園運動施設球技場（寄附整備：R5～6）

掲載事業		実施状況	主な実績												
2 みる スポ ーツ	33「京都マラソン」の更なる定着・発展 市民スポーツの振興はもとより、京都経済の活性化や京都ブランドのさらなる向上を図ることを目的とし環境にも配慮した、参加者、応援者、市民が一体となって楽しめる総合スポーツイベント「京都マラソン」について、京都の財産として継承し、更なる発展を図ります。	文化や伝統産業等と融合した京都ならではのおもてなしや市民ぐるみでの盛り上げなど、京都マラソンの更なる魅力向上を図りつつ継続的に開催。	・京都マラソン 2012 から 2023 までの開催実績 ランナー数：延べ 142,347 人 経済波及効果（2012～2023）：44,678,000 千円 市税増収効果（2012～2023）：1,063,000 千円 ・直近の開催実績 <table><tr><td></td><td>京都マラソン 2024</td><td>京都マラソン 2025</td></tr><tr><td>ランナー数</td><td>16,363 人</td><td>16,774 人</td></tr><tr><td>経済波及効果</td><td>5,105,000 千円</td><td>5,768,000 千円</td></tr><tr><td>市税増収効果</td><td>146,000 千円</td><td>153,000 千円</td></tr></table> ・おんらいん京都マラソン 2021 ランナー数：延べ 9,862 人 ・おんらいん京都マラソン 2022 ランナー数：延べ 7,550 人 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン開催となり経済波及効果、市税増収効果ともに算出なし ・R4 からは、京都マラソンに先行して、10～11 月に「おんらいん京都マラソン」を開催		京都マラソン 2024	京都マラソン 2025	ランナー数	16,363 人	16,774 人	経済波及効果	5,105,000 千円	5,768,000 千円	市税増収効果	146,000 千円	153,000 千円
		京都マラソン 2024	京都マラソン 2025												
	ランナー数	16,363 人	16,774 人												
経済波及効果	5,105,000 千円	5,768,000 千円													
市税増収効果	146,000 千円	153,000 千円													
34プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームの支援・振興（56 再掲） プロチームや企業・社会人チームなど市民がトップレベルのプレイを観戦できる機会の確保・拡充に努めるとともに、チームと市民の交流事業やスポーツ教室等の開催などスポーツを通じた地域貢献・社会貢献に取り組む地域密着型スポーツチームの支援・振興に取り組めます。	施設の優先利用や市民しんぶん等での広報協力、区民デー等の開催、各局区等が実施する事業における連携協力など、プロチーム等の地域密着の取組を推進。 若年層を中心に人気を集めるアーバンスポーツの市内での振興・定着を図るための取組を実施。	・京都市スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チームを設置（R3）・運営し、プロチーム等との協力・連携を促進 ・京都を拠点として立ち上がった新たなプロスポーツチーム（卓球：京都カグヤライズ、3x3：ZIGeN UPDATERS. EXE）への各種支援（R4～） ・広報活動支援（市民しんぶんでの試合広報のほか、プロスポーツチーム特集記事の掲載（R3、R4、R5、R6）、京都カグヤライズ特集記事の掲載（R4）） 【アーバンスポーツの振興に関する連携協定締結】 ・オーバーサンプ（ダブルダッチ）、京都市スポーツ協会及び本市の三者による連携協定を締結（R6）													
35国際的・全国的規模のスポーツイベントの誘致促進 競技団体や指定管理者等と連携して、国際的又は全国的な規模の競技大会の京都での開催の継続はもとより、新規誘致についても積極的に取り組みます。	全国駅伝の継続開催支援、プロスポーツのリーグ戦、ラグビーW 杯関連イベント、WMG 開会式及び競技の誘致などを実施。	・ラグビーW 杯抽選会（H29）、パブリックビューイング（R 元） ・3×3. EXE PREMIER 公式戦の開催（平安神宮前）（R 元） ・女子駅伝、高校駅伝、車いす駅伝の継続開催支援 ・プロ野球公式戦の実施（わかさスタジアム京都、オリックス戦） ・ニトリ J D リーグ（わかさスタジアム京都） ・WMG2027 関西（開会式、4 競技）（※R9 年に再延期） ・ジャパンラグビーリーグワン公式試合の開催（たけびし）（R6）													

掲載事業		実施状況	主な実績
2 みるスポーツ	36 スポーツツーリズムの推進（26 再掲） 「京都マラソン」など京都のまちの魅力を生かしたスポーツイベントの開催、プロスポーツの振興、大規模スポーツイベントの誘致促進などの取組により、スポーツを観光資源として観光誘客やまちの活性化につなげるスポーツツーリズムを推進します。	観光スポットを巡る京都マラソンや京都ウオークの開催、全国駅伝やプロスポーツ等の開催支援、関西広域連合との連携によるスポーツと観光情報の発信や WMG を契機とした観光振興等を実施。	・京都マラソン、京都ウオーク、天皇盃 全国車いす駅伝競走大会の実施 ※京都マラソン 2021、2022 大会は新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン開催 ・全国規模大会の後援、共催（高校駅伝、女子駅伝） ・プロスポーツの開催支援（J リーグ、プロ野球、B リーグ、3×3、女子プロ野球（～R3）） ・WMG 特別体験プランの公開（大会再延期に伴い休止中）
	37 「京都スポーツの殿堂」事業の推進（21 再掲） 京都ゆかりのトップアスリートを殿堂入りとして顕彰するとともに、殿堂入り者によるスポーツ教室や講演会などの「伝道事業」の充実を図ります。	殿堂委員会の開催による殿堂入り者の選考、表彰式の開催、殿堂ホールでの展示、殿堂入り者による伝道事業などを実施。	・本市ゆかりのスポーツ関係者を殿堂入り者として表彰（H22～、42 名殿堂入り、9 名特別功労表彰） ・殿堂ホールにおいて殿堂入り者の情報を発信（H22 年度～） ・殿堂入り者による伝道事業の実施 （R6：福士氏による運動会イベント、柱谷氏によるサッカー教室、久保氏による特別授業、釜本氏監修によるサッカー教室、小西氏・岡島氏によるティールボール教室）
	38 競技団体やプロチーム等への企業支援の促進 国際的又は全国的な規模の競技大会の開催に取り組む競技団体やプロチーム等への民間企業による支援の促進を図ります。	競技団体、プロチーム等の相談に応じて企業と繋ぐなど、連携促進・支援を実施。また、京都府等とともに、企業等を含め地域が一体となって京都サンガを応援する TEAM 京都コンソーシアムを設立。	・京都サンガを応援する TEAM 京都コンソーシアムの設立（R 元） ・京都市スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チームの設置（R3）、庁内各局とスポーツチームとの連携の促進
	39 プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームと連携した地域活性化の推進（22, 57 再掲） R4.3 追加 京都サンガ F.C. や京都ハンナリーズをはじめとしたスポーツチームとの連携・協力を一層進めるために立ち上げた「京都市スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チーム」の取組などにより、市民と共にスポーツチームを盛り上げることを通じて市民スポーツの振興を図るとともに、地域との連携を更に深め、地域活性化にもつなげていきます。	京都市スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チームを設置（令和 4 年 2 月）・運営し、庁内各局とスポーツチームとの協力・連携を促進。	プロスポーツチームと連携した主な取組（R6） ・京都市ホームタウンデーにおける連携（サンガ） ・小学生を対象にした職業体験イベントでのブース出展（サンガ） ・Kotochika 連携イベント秋のガラボン抽選会の実施（サンガ） ・ホームゲームにおける使い捨てプラスチック削減啓発、食品ロス削減啓発（ハンナリーズ） ・祇園祭や嵐山公園でのまち美化推進事業団との清掃活動イベント（ハンナリーズ） ・京都ハンナリーズ及びパートナー企業によるバスケットボール等の寄付プロジェクト（ハンナリーズ） ・中学校の休日運動部活動に指導者を派遣（ハンナリーズ） ・女性に対する暴力をなくす運動パネル展示（京都カグヤライズ） ・児童館が開催するイベントでのバスケットボール体験（じけんアップデーターズ） ・区民まつりでのブース出展等（サンガ、ハンナリーズ、京都カグヤライズ）

掲載事業		実施状況	主な実績
2 みるスポーツ	40	本市所管のスポーツ施設における抗ウイルス加工、サーマルカメラ等の設置のほか、スポーツ活動におけるコロナ対策費用を支援する京都市スポーツ団体活動支援補助金を創設（令和3年度限り）するなど新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施。 体育振興会やスポーツ推進指導員と連携し、「体育振興会事業における新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を活用のうえ事業を実施。 3年ぶりに公道を走る京都マラソン2023の開催に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底。 密になりにくいアウトドアスポーツとして、京都一周トレイルを活用したイベント・情報発信、広域的なサイクリングルートの設定・サイクリング環境の整備、情報発信。	【本市所管のスポーツ施設】 ・抗ウイルス加工（更衣室、トイレ、トレーニングルーム等）、空気清浄機・CO2センサー、サーマルカメラの設置（R3） 【活動支援補助】 ・スポーツ活動におけるコロナ対策に係る経費を助成する「京都市スポーツ団体活動支援補助金」の創設・支援（R3限り。補助件数 62 団体、交付金額 10,768 千円） 【体育振興会・スポーツ推進委員との連携】 ・「体育振興会事業における感染症予防ガイドライン」の作成（R2）、ガイドラインに沿った各体育振興会事業の実施 【京都マラソン】 ・京都マラソン 2022、2023 の開催に当たっての新型コロナウイルス感染症対策の実施 【京都一周トレイル】 ・R4.10 ガイドマップの改訂。インスタグラムを利用したフォトコンテストのほか雑誌、ラジオ等と連携した情報発信 【サイクリング・自転車観光】 ・京奈和自転車道サイクリングマップの更新（R6.3） ・関西広域連合と連携し、関西広域サイクリングルートの設定（忍びの里・古都周遊ルート（滋賀ー三重ー奈良ー京都）） ・「ツール・ド・京都西山 京都西山ヒルクライム参拝！」の実施（西京区洛西、向日市、長岡京市、大山崎町及び地域団体が連携し地域の魅力発信やサイクルツーリズム推進）（R4） ・「京都西山ヒルクライム参拝！2024 poewred by Sigr」の実施（R5、R6） ・京都よくばり自転車観光ナビを「京都自転車観光ナビ」としてリニューアル（R2～） ・京都市サイクルサポートステーションの設置（R5）
	R4.3 追加		

掲載事業		実施状況	主な実績
3 支えるスポーツ	41 市民ボランティアのしくみづくり・裾野拡大 多くのボランティアに支えていただいている京都マラソンの取組などを踏まえ、各種スポーツイベントを支える市民ボランティアを、福祉、環境、教育など幅広い分野の市民団体と連携して募集できるしくみづくりを進めるとともに、ボランティア同士の交流促進などスポーツを核としてボランティアの裾野を広げる取組を進めます。	地域スポーツを支えるボランティア組織である体振の活性化を図るとともに、京都マラソンでの個人ボランティアリーダー配置やファミリーボランティア募集等によるボランティア育成、裾野拡大を推進。	【京都マラソン】 ・京都マラソンボランティア（2012～2020）：延べ約 73,200 人 ・京都マラソンボランティア（2023）：延べ約 7,973 人 ・京都マラソンボランティア（2024）：延べ約 6,827 人 ・京都マラソンボランティア（2025）：述べ約 7,030 人（学生ボランティアや個人・ファミリーなど様々な方が参加） ※2021・2022 大会は新型コロナウイルス感染症拡大によりオンライン開催となったため、ボランティアの募集はなし 【体振】 ・学区民体育祭やその他レクリエーション活動において、地域を支えるボランティアとして活動 ・スポーツ推進委員も参加し、体育振興会在り方検討委員会を開催。今後の活動について 5 つの活性化方策をまとめた。 【WMG】 WMG ボランティアを募集（※令和 9 年に再延期）
	42 市民の多様な活動を支える人材の育成、活動の支援 スポーツの楽しみ方や健康に関する指導からアスリートの育成のための専門的な指導まで、市民のスポーツやレクリエーション活動を支える人材の育成・活動を支援します。また、競技団体等の協力のもと指導者を派遣する出前コーチ制度を創設します。	地域スポーツやレクリエーション活動を支える体振やスポーツ推進指導員の活動支援、競技スポーツ振興事業による競技団体の指導力、競技力強化の取組に対する支援を推進。	【体振活動】 地域におけるスポーツレクリエーション、各種スポーツ大会の実施 【推進委員活動】 審判講習会、全国各地の研究大会に参加 【競技団体】 競技スポーツ振興事業として指導力向上、競技力強化・育成に関する補助事業の実施
	43 スポーツ推進指導員制度の充実 スポーツの実技の指導者としての役割に加え、企画・立案力を持ったコーディネーターとしての役割を担うために、研修機会の充実などに取り組みます。	スポーツ推進指導員の連絡調整等を目的としたスポーツ推進委員会の運営や講習会の開催、府内・近畿・全国等の研究大会への派遣等による指導力、資質向上の取組に対する支援	スポーツ推進委員の活動支援 【推進委員活動】 審判講習会、全国各地の研究大会に参加 【推進委員数】 484 名（R7.4 月時点） 【報酬体系見直し】 これまでの一律支給から、活動内容や実績に応じた報酬体系へ変更するとともに、推進委員の機能強化に併せて報酬の日額単価の引き上げを実施。（R6）
	44 個人・団体・企業等への表彰制度の充実 市民スポーツの振興に貢献のある個人・団体に対する表彰制度の充実に引き続き取り組むとともに、スポーツ振興に貢献する企業等への表彰制度を創設します。	スポーツへの興味、関心を高める顕著な活躍をした個人、団体への京都市スポーツ表彰、地域スポーツの担い手として貢献した方への体振表彰、関西広域連合と連携した関西スポーツ応援企業表彰を実施。	（H23～R6 年までの主な表彰実績） ・京都市スポーツ最高栄誉賞：47 名・1 団体 ・京都市スポーツ大賞：1,445 件（個人 1,154 件） ・関西スポーツ応援企業表彰（R 元～、毎年 5 件程度）

掲載事業		実施状況	主な実績
3 支えるスポーツ	45 京都市スポーツ振興基金の活用 京都市スポーツ振興基金（平成23年度設置）を積極的に活用し、既存スポーツ施設の老朽化に伴う改修や競技・観戦環境の向上のための施設整備など市民の皆様がスポーツに親しめる環境づくりを進めます。	京都マラソンや西京極整備、WMGなどのメニュー設定等により募集したふるさと納税寄付金、ネーミングライツ料等を積み立てた基金を活用し、各種施設整備等を実施。 企業版ふるさと納税を活用した市民スポーツ振興に資する取組への支援制度を創設（本市が納入したふるさと納税の一部は、みらい夢基金に積み立てて本市のスポーツ振興に資する事業に活用）	【スポーツ振興基金を財源とした施設整備等】 【わかさ】 グラウンド全面改修、諸室・スタンド一部改修等（H21～）、観客席個席化（R2～R5）、スタンド上部広告板点検整備（R6）、東側外野席トイレ改修（R6） 【かたおか】 耐震化等の大規模改修（H24～25） 【宝が池フットサル】 人工芝張替え（H30） 【たけびし】 1種公認継続に向けた芝・走路改修、諸室改修、照明等改修に向けた調査・検討（R2） 【SBS ロジコム】 ラグビーゴール購入（R6） 【東寺ハウジングフィールド】 照明設置（R5～6）、フレキハードル購入（R6） 【宝が池アーバンスポーツパーク】 クラウドファンディング実施（R5）、整備（R6） 【企業版ふるさと納税を新たな制度】 公民連携型スポーツ活動支援事業（Sports Fund）の創設（R
	46 ネーミングライツ契約を活用した施設整備（6再掲） わかさスタジアム京都（西京極総合運動公園野球場）やハンナリーズアリーナ（京都市体育館）の導入事例を踏まえ、新規導入や継続、新たな手法の検討に取り組むとともに、ネーミングライツ収入を効果的に活用して施設の整備・改修を進めます。	京都市体育館など12施設を通称付与の対象施設に設定し、ネーミングライツの導入を促進するとともに、ネーミングライツでの財源を活用した施設整備、改修を実施。	【ネーミングライツ契約】 ・わかさスタジアム京都（西京極総合運動公園野球場）（R6～R10） ・たけびしスタジアム京都（西京極総合運動公園球技場）（R1～R12） ・大和ハウスパーキング京都市宝が池フットサルコート（H30～R10） ・SBS ロジコム吉祥院公園球技場（吉祥院公園球技場）（R5～R7） ・東寺ハウジングフィールド西京極（西京極総合運動公園補助競技場）（R5～R9） ・アイアイ伏見桃山スタジアム（伏見桃山城運動公園野球場）（R5～R10） ・かたおかアリーナ京都（京都市体育館）（R5～R15） 【ネーミングライツでの財源を活用した施設整備・改修】 【わかさ】 グラウンド全面改修、諸室・スタンド一部改修等（H21～）、観客席個席化（R2～R5）、スタンド上部広告板点検整備（R6）、東側外野席トイレ改修（R6） 【かたおか】 耐震化等の大規模改修（H24～25） 【宝が池フットサル】 人工芝張替え（H30） 【たけびし】 1種公認継続に向けた芝・走路改修、諸室改修、照明等改修に向けた調査・検討（R2） 【SBS ロジコム】 ラグビーゴール購入（R6） 【東寺ハウジング】 照明設置（R5～6）、フレキハードル購入（R6）

掲載事業		実施状況	主な実績
3 支えるスポーツ	47 スポーツ関連情報の総合的提供 市民のだれもがスポーツに関する情報を容易に入手できるよう、施設の利用情報やイベント等の開催情報、様々な団体の活動情報などスポーツに関する情報を集約し、総合的に分かりやすく提供するしくみづくりを進めます。	市民しんぶんなど本市広報媒体を活用した情報発信、施設の指定管理者による情報紙の発行のほか、スポーツに関する情報を総合的に発信するスポーツウェブ京都を運用。	・イベント等の開催情報など本市スポーツに関する情報を様々な媒体で発信（市民しんぶん、ダッシュ（スポ協広報紙）） ・スポーツウェブ京都の開設・運営（H28～R2。R3 から京都市情報館へ移行）
	48 体育振興会・スポーツ推進指導員の更なる活性化 地域におけるスポーツ振興の原動力である体育振興会及びスポーツ推進指導員について、若い世代をはじめとする新たな参加者や担い手の確保など、更なる活性化に向けた取組を進めます。	体育振興会の在り方検討委員会での議論を踏まえた市民スポーツフェスティバル等の見直しのほか、同検討委員会に新たに分科会を設置し、スポーツ推進指導員の在り方の議論に着手。	・スポーツ推進委員も参加し、体育振興会在り方検討委員会を開催。今後の活動について5つの活性化方策をまとめた。（R5） ・体育振興会活動の発信強化に向けて、SNS 等活用マニュアルを作成（R6）
	49 運動部活動改革の推進と地域における子ども・若者のスポーツ機会の充実に向けた検討 令和5（2023）年度以降の中学校等の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、スポーツ庁に「運動部活動の地域移行に関する検討会議」が設置され、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」で示した方針の具体化に向けた検討に着手されています。今後、当検討会議で提言される方向性・方策を踏まえ、教育委員会をはじめとする関係部署と連携して、指導者等の人材確保、指導力向上など地域の受皿整備に向けた検討を行います。	・民間事業者や大学、プロスポーツチーム等と連携し、休日運動部活動の地域展開に関する実践研究事業を推進するとともに、本市において目指すべき将来像及び地域展開の方針、並びにそれを進めていくための具体的方策を、関係者が一体となって検討し取りまとめていくため、令和6年1月に有識者、関係団体及び本市で構成する協議会「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方検討会議」を設置（令和6年度末までに全5回開催）。 ・また、同会議において、「令和10年度以降、これまでの京都市立中学校の部活動を廃止し、部活動の教育的意義を継承する『京都版地域クラブ（仮称）』を創設した上で、各校で『放課後活動』を実施する」等の内容を盛り込んだ「学校部活動及び地域クラブ活動推進方針」の策定に向けた議論を進めている。	・民間事業者に運動部活動を委託する取組を14校20部活で実施（R6） ・学校法人大阪成蹊学園と連携し、中学校運動部活動に大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学から派遣された学生が実技指導など部活動運営に関わりながら、生徒のニーズに即した活動の充実と教員の負担軽減に努める取組を18校31部活で実施（R6） ・本市に拠点を置く総合型地域スポーツクラブ「k-style」と連携し、休日の運動部活動に指導者を派遣する取組を1校1部で実施（R6） ・「京都ハンナリーズ」と連携し、中学校部活動に指導者を派遣する取組を2校2部活動で実施（R6） ・関係団体及び本市で構成する協議会「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方検討会議」を令和6年1月に設置し、令和6年度末までに全5回実施。 ・京都市学校部活動及び地域クラブ活動推進方針(案)について、令和7年2月28日から令和7年3月31日まで、市民意見の募集を実施。
	50 市民に身近な施設の利用促進（8再掲） 学校の夜間利用など、生活圏にある施設の利用促進を図ります。	夜間校庭開放事業等による学校施設の利用を促進。老朽化した照明設備について順次改修。	【校庭開放事業】 小・中学校での夜間校庭開放事業の実施（照明設置校数 R7 現在：165 校） 学校体育施設開放事業の実施（R7 現在：211 校） 【照明改修】 老朽化した照明を順次改修中（R 元：4 校、R2:6 校、R3:5 校、R4:6 校、R5:6 校、R6:8 校、R7:5 校予定）

掲載事業		実施状況	主な実績
3 支 え る ス ポ ー ツ	51 ひとにやさしい施設の改修・整備（3, 32 再掲） 施設の改修・整備に際しては、観客席、更衣室、通路、トイレなどのバリアフリー化やユニバーサルデザインの理念に沿った施設のあり方を追求します。	トイレ等の改修をはじめとする施設、設備のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの理念による改修、整備を推進。	【トイレ等改修・バリアフリー化】 たけびしスタジアム京都（府市協調：H28～）、横大路運動公園（府市協調：R 元～）、宝が池公園運動施設球技場、園路（寄附整備：R6）、わかさスタジアム京都東側外野席トイレ（R6） 【ユニバーサルデザインの理念に沿った施設整備】 宝が池公園運動施設体育館（R 元）、宝が池公園運動施設球技場（寄附整備：R5～6）
	52 施設の柔軟な管理運営及び良質なサービスの提供（9 再掲） 市民のライフスタイル（くらし方・生き方）、生活時間の変化により多様化するニーズに応えるため、指定管理者と連携し、施設の開所時間の拡充や無料開放日の設定など管理・運営を柔軟なものとし、良質なサービスを提供します。	一部施設の供用時間の拡大や無料開放日の設定など、指定管理者と連携したサービス向上の取組を実施。	【供用時間拡大、時間外利用の実施】 わかさスタジアム京都の供用時間拡大（午前 9 時→7 時、H25 年度～） 京都アクアリーナにおいて開所時間（9:00～21:00）外での利用を実施 【各施設で時間外利用が可能となるよう規定整備（R5）】 勧修寺公園、アイアイ伏見桃山スタジアム、小畑川中央公園（19 時まで利用時間延長、R5～試行） 【正月無料開放日の設定】※ R6. 1 月実績 たけびしスタジアム京都、かたおかアリーナ京都、岡崎公園野球場
	53 競技ニーズの多様化に対応した受入種目の拡充検討（10 再掲） 競技ニーズの多様化に対応して、障害者スポーツへの対応を含め、各施設で受入可能な競技種目の拡充を検討します。	一部施設でフェンシングやテックボール、スケートボードの受入を試行実施するなど、利用者、団体等の要望に応じて競技種目を拡充。	【フェンシング試行実施】 伏見北堀公園地域体育館（R 元～） 【テックボール試行実施】 岩倉東公園及び桂川緑地久我橋東詰公園（R 元～） 【アーバンスポーツ試行実施】 【利用種目の拡大試行実施】 ・野球場等において、野球以外のスポーツ及びスポーツ以外の利用を受け付け。（東野公園、勧修寺公園、小畑川中央公園、三栖公園、R4～） （吉祥院公園、横大路運動公園、桂川緑地久我橋東詰公園、伏見桃山城運動公園、牛ヶ瀬公園、一乗寺公園、岩倉東公園、R5～） ・施設内会議室においてスポーツ以外の利用を受け付け。（宝が池体育館、宝が池クラブハウス、東山・山科・右京・桂川・醍醐・下京地域体育館、市民スポーツ会館、武道センター、横大路体育館、京都アクアリーナ、R4～）

掲載事業		実施状況	主な実績
3 支えるスポーツ	54 体育振興会、体育協会等との連携・協働 京都市体育振興会連合会、京都市体育協会、京都市スポーツ推進指導員会、各施設の指定管理者、さらには企業、競技団体、NPO等との連携を強化し、だれもがスポーツを楽しむ機会の提供、生涯スポーツの普及・振興、市民ボランティアの裾野拡大、スポーツ情報の提供などの市民スポーツの振興はもとより、スポーツを通じて地域コミュニティの活性化を図り、地域の絆を深める取組を推進します。また、総合型地域スポーツクラブの育成支援を進めます。	体振やスポーツ推進指導員、スポーツ協会等との連携により誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、スポーツ活動を支える市民を拡大し、地域の交流やコミュニティの活性化を推進。 市民のスポーツ振興・健康増進等に繋げることを目的に、スポーツに関わりの深い民間企業等との連携を推進。	【体振、推進委員】 ・市民スポーツフェスティバルの開催 ・各学区での大会（ペタンク、グラウンドゴルフ、ソフトボール、バレー、学区民体育祭など）の開催 ・京都マラソンへのボランティアの参加 ※2021・2022 大会は新型コロナウイルス感染症拡大によりオンライン開催となったため、ボランティアの依頼なし 【スポーツ協会】 ・みんなのスポーツフェスタの開催、WMG 体験会の開催、マラソン講座の開催 【株式会社ワコールとの連携協定締結】 ・市民のスポーツ振興・健康増進等を目的として連携協定を締結。協定締結を記念して、スポーツの殿堂入り者である富士加代子氏による運動会企画を実施（R6） 【総合型地域スポーツクラブに対する支援】 ・toto 助成事業を活用した総合型地域スポーツクラブの創設支援、自立支援等の補助制度を開始（R6）
	55 大学との連携・協働 各大学との連携を強化し、大学スポーツチームとの協働事業の実施、大学の持つ知識の活用、学生ボランティアなど人的資源の活用、大学と地域の交流促進など「大学のまち」「学生のまち」の強みを生かした取組を進めます。	京都マラソン、WMG などでの学生ボランティアの活用、学生の活動と連携した参加者の交流、おもてなしの取組等を推進。	【京都マラソン】 ・京都マラソンマネジメント・リサーチ・チーム（同志社、立命館、龍谷）と連携し、ランナー、市民、ボランティア調査を実施 ・京都産業大学と連携し、学生たちが企画・運営するモザイクアート、古本回収を実施（～2020 大会） ・京都産業大学と連携し、学生たちが企画・運営する SNS を活用したイベント「走ってメッセージを送ろう!」、「オンライン動画コンテスト」の実施（2021 大会） ・京都産業大学と連携し、学生たちが企画・運営する SNS を活用したイベント「京都マラソンいちおしスポット GP」の実施（2022 大会） ・京都橘大学、明治国際医療大学と連携し、医療救護体制を充実 ・龍谷大学と連携し、同大学が企業と共同開発した“京 鈴 龍谷玉”をおこしやす広場出展ブースにおいて販売を実施 ・京都光華女子大学と連携し、マラソンのリカバリーにコラーゲンペプチド入り珈琲羊羹をおこしやす広場出展ブースにおいて販売を実施 【WMG】 ・語学ボランティア、開会式への出演及び運営協力を依頼（※R9 に再延期） 【全京都大学野球トーナメント大会】 ⇒コロナの影響により R2 中止。R3 から休止

掲載事業		実施状況	主な実績
3 支えるスポーツ	56 プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームの支援・振興（34 再掲） プロチームや企業・社会人チームなど市民がトップレベルのプレイを観戦できる機会の確保・拡充に努めるとともに、チームと市民の交流事業やスポーツ教室等の開催などスポーツを通じた地域貢献・社会貢献に取り組む地域密着型スポーツチームの支援・振興に取り組めます。	施設の優先利用や市民しんぶん等での広報協力、区民デー等の開催、各局区等が実施する事業における連携協力など、プロチーム等の地域密着の取組を推進。若年層を中心に人気を集めるアーバンスポーツの市内での振興・定着を図るための取組を実施。	・京都市スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チームを設置（R3）・運営し、プロチーム等との協力・連携を促進 ・京都を拠点として立ち上がった新たなプロスポーツチーム（卓球：京都カグヤライズ、3x3：ZiGeN UPDATERS. EXE）への各種支援（R4） ・広報活動支援（市民しんぶんでの試合広報のほか、プロスポーツチーム特集記事の掲載（R3、R4、R5、R6）、京都カグヤライズ特集記事の掲載（R4）） 【アーバンスポーツの振興に関する連携協定締結】 ・オーバーサンプ（ダブルダッチ）、京都市スポーツ協会及び本市の三者による連携協定を締結（R6）
	57 プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームと連携した地域活性化の推進（22, 39 R4.3 再掲） 追加 京都サンガF.C. や京都ハンナリーズをはじめとしたスポーツチームとの連携・協力を一層進めるために立ち上げた「京都市スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チーム」の取組などにより、市民と共にスポーツチームを盛り上げることを通じて市民スポーツの振興を図るとともに、地域との連携を更に深め、地域活性化にもつなげていきます。	京都市スポーツを活かしたまちづくり推進庁内連携チームを設置（令和4年2月）・運営し、庁内各局とスポーツチームとの協力・連携を促進。	プロスポーツチームと連携した主な取組（R6） ・京都市ホームタウンデーにおける連携（サンガ） ・小学生を対象にした職業体験イベントでのブース出展（サンガ） ・Kotochika 連携イベント秋のガラボン抽選会の実施（サンガ） ・ホームゲームにおける使い捨てプラスチック削減啓発、食品ロス削減啓発（ハンナリーズ） ・祇園祭や嵐山公園でのまち美化推進事業団との清掃活動イベント（ハンナリーズ） ・京都ハンナリーズ及びパートナー企業によるバスケットボール等の寄付プロジェクト（ハンナリーズ） ・中学校の休日運動部活動に指導者を派遣（ハンナリーズ） ・女性に対する暴力をなくす運動パネル展示（京都カグヤライズ） ・児童館が開催するイベントでのバスケットボール体験（じけんアップデーターズ） ・区民まつり等でのブース出展（サンガ、ハンナリーズ、京都カグヤライズ）

掲載事業		実施状況	主な実績
3 支 え る ス ポ ー ツ	58 ウイズコロナ・ポストコロナ社会での市民スポーツの振興（29, 40 再掲）	本市所管のスポーツ施設における抗ウイルス加工、サーマルカメラ等の設置のほか、スポーツ活動におけるコロナ対策費用を支援する京都市スポーツ団体活動支援補助金を創設（令和3年度限り）するなど新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施。	【本市所管のスポーツ施設】 ・抗ウイルス加工（更衣室、トイレ、トレーニングルーム等）、空気清浄機・CO2センサー、サーマルカメラの設置（R3） 【活動支援補助】 ・スポーツ活動におけるコロナ対策に係る経費を助成する「京都市スポーツ団体活動支援補助金」の創設・支援（R3限り。補助件数 62 団体、交付金額 10,768 千円） 【体育振興会・スポーツ推進委員との連携】 ・「体育振興会事業における感染症予防ガイドライン」の作成（R2）、ガイドラインに沿った各体育振興会事業の実施 【京都マラソン】 ・京都マラソン 2022、2023 の開催に当たっての新型コロナウイルス感染症対策の実施 【京都一周トレイル】 ・R4.10 ガイドマップの改訂。インスタグラムを利用したフォトコンテストのほか雑誌、ラジオ等と連携した情報発信 【サイクリング・自転車観光】 ・京奈和自転車道サイクリングマップの更新（R6.3） ・関西広域連合と連携し、関西広域サイクリングルートの設定（忍びの里・古都周遊ルート（滋賀－三重－奈良－京都）） ・「ツール・ド・京都西山 京都西山ヒルクライム参拝！」の実施（西京区洛西、向日市、長岡京市、大山崎町及び地域団体が連携し地域の魅力発信やサイクルツーリズム推進）（R4） ・「京都西山ヒルクライム参拝！2024 powered by Sigr」の実施（R5、R6） ・京都よくばり自転車観光ナビを「京都自転車観光ナビ」としてリニューアル（R2～） ・京都市サイクルサポートステーションの設置（R5）
	R4.3 追 加 スポーツ施設における感染拡大防止対策を徹底するなど、市民が身近で安心・安全にスポーツ活動に取り組める環境を提供します。 市民スポーツの普及・振興に大きな役割を果たしている体育振興会やスポーツ推進指導員等と更なる連携を図り、ウイズコロナ・ポストコロナ社会における市民スポーツの振興に取り組みます。 「するスポーツ」「みるスポーツ」「支えるスポーツ」のそれぞれに大きな役割を果たしている京都マラソンについて、ウイズコロナ・ポストコロナ社会に適合し、安心・安全な大会を開催するとともに、魅力を高め、更なる進化を図ります。 密になりにくいアウトドアスポーツとして、トレイルやサイクリングなどを推進し、健康づくりに加えて、京都の新たな魅力を体感・発見できる機会にもつなげます。	体育振興会やスポーツ推進指導員と連携し、「体育振興会事業における新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を活用のうえ事業を実施。 3年ぶりに公道を走る京都マラソン2023の開催に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底。 密になりにくいアウトドアスポーツとして、京都一周トレイルを活用したイベント・情報発信、広域的なサイクリングルートの設定・サイクリング環境の整備、情報発信。	